

防災対応マニュアル

令和6年度版

警報等の発表時は、**命を守る行動を優先し行動**してください。登校については次の基本対応を参考に保護者で判断をしてください。

I 異常気象時の対応

1 「特別警報」が知立市に発表された場合

「知立市」に、「特別警報」が発表された場合は登校しないでください。

- *登校前に「特別警報」が解除された場合も、学校からのメール等による連絡があるまで、登校しないでください。
- *登校後に「特別警報」が発表された場合は、ただちに授業を中止し、気象及び通学路の状況を見て、生徒の安全を確保する最善の対応（学校待機、保護者への引渡し、集団下校等）を迅速に行います。
- *学校待機とした場合、解除後も安全と判断できるまで下校を見合わせます。

2 「暴風警報」が発表された場合

「知立市」に「暴風警報」が発表された場合は登校しないでください。

*登校前に「暴風警報」が発表されていた場合

- ・ 午前6時までに警報が解除 → 平常授業を行う
- ・ 午前6時を過ぎても警報が解除されない場合 → 当日の授業はなく休校とする

*登校後に「暴風警報」が発表された場合

安全に帰宅可能な場合

- ・ 安全に下校させるための配慮をとり、風の様子を見て一斉下校させます。

安全に帰宅困難な場合

- ・ 状況により、下校が困難であると判断した場合は、学校待機とし、安全と判断されるまで下校を見合わせます。もしくは、保護者の迎えを待ちます。

「暴風警報」の「知立市」への発表を知るには・・・

- ① デジタルテレビのデータ放送：「リモコンのdボタン」→「気象情報」で確認
- ② 気象庁のホームページ：「気象庁 警報・注意報 知立市」で検索
- ③ 携帯サイト：「国土交通省防災情報提供センター」で検索

3 その他「土砂災害、洪水、大雨（浸水害）等」により危険な状況が見られる場合

- ◇登校前：危険と判断したら無理をしないで自宅で待機し、その旨を学校に連絡してください。
- ◇登校や下校の途中：危険と思われる箇所があったときは、危険を避けて自宅に戻ります。
- ◇在校中：学校で判断し、暴風警報時に準じて、待機・下校・引渡しを行います。

II 南海トラフ地震を含む地震に関する対応

1 大地震（南海トラフ地震を含む）に関する対応

【南海トラフ地震臨時情報の確認事項】

- ・南海トラフ地震臨時情報は、地震予知情報ではありません。
- ・南海トラフの想定震源域などで、大きな地震が起こっている場合に、この情報が出ます。

地震	学校
知立市で震度5弱以上の地震（南海トラフ地震を含む）が発生した場合。	【登校前】 授業中止です。家で安全確保してください。 【授業中】 引き渡しカードの記載方法に従って、下校となります。
●知立市で震度1～3の地震が発生したとき。 ●南海トラフ地震臨時情報（調査中・巨大地震注意）が発表されたとき。 ※南海トラフの想定震域又はその辺で、大きな地震（M6.8程度以上M8.0未満）が起こっている状況です。（知立市では、突発的に震度1～3の揺れ）	通常授業となります。
●知立市において、震度4の地震が発生したとき。 ●南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）が発表されたとき。 ※南海トラフの想定震源域で、大きな地震（M8.0以上）が起こっている状況です。（知立市では、突発的に震度4の揺れ）	原則、通常授業となります。 ※状況によっては、授業を中止する場合があります。 ※原則、きずなメールで連絡します

Ⅲ 弾道ミサイルに関する対応

Jアラートが発動された場合

1 登校前

- ・ 自宅で待機し、政府発表による安全の確認がとれた後、登校してください。
- ・ 登校時刻や方法については、きずなメール等、学校からの連絡にご留意いただきますよう、よろしくお願いします。

2 在校中

- ・ 安全を確認できるまでは、校舎内で待機します。
- ・ 安全を確認した後は、通常通りに日課を進めます。

3 登下校中

- ・ できる限り頑丈な建物や地下に避難し、安全を確認できるまで待機してください。
 → 鉄筋コンクリートでできた建物がよいです。
 → 建物がない場合は物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守ってください。
- ・ 避難先で安全を確認した後は、登校途中の場合は速やかに登校を、下校途中の場合は下校をしてください。



弾道ミサイル落下時の行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

①速やかな避難行動
②正確かつ迅速な情報収集
 行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。



国民保護ポータルサイト
武力攻撃やテロなどから身を守るために
事前に確認しておきましょう。
http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryou/hogo_manual.html

— ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧になれます —



首相官邸
ホームページ
www.kantei.go.jp/



Twitterアカウント
首相官邸災害・危機管理情報
@Kantei_Saigai



Jアラート（例）直ちに避難。直ちに避難。直ちに頑丈な建物や地下に避難してください。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難してください。

メッセージが流れたら
落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外にいる場合 できる限り頑丈な建物や地下に避難する。
地下：地下街や地下駅舎などの地下施設

建物がない場合 物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

屋内にいる場合 窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

近くにミサイル落下！

- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをし、室内を密閉する。

IV 保護者へのお願い

◎居場所の確認：

- ・日頃から、家庭でお互いのその日の動向を確認しておいてください。緊急下校しても家が留守で中に入れないというようなことにならないようにしておいてください。

◎危険個所の通報：

- ・警報の有無にかかわらず、道路の冠水、河川の氾濫、火災の発生、電線の切断など生徒の通行が危険と思われるときは、危険個所を学校へ通報してください。生徒は自宅に待機するようにしてください。

- 1) 災害などのために登校できなくても、遅刻や欠席扱いにはなりません。
- 2) 警報解除の問い合わせなどの学校への電話は、情報収集のさまたげになりますので、絶対にしないでください。